

トリフルラリン乳剤 トレファノサイド乳剤	取扱メーカー： 日産、住友化学 原体メーカー： ゴーワン
成分： トリフルラリン〔ジニトロアニリン系 PRTR・1種〕…44.5% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………26%〈24～30%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………21%〈17～24%〉	性状： 赤黄色可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- トレファノサイド粒剤2.5の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- トレファノサイド粒剤2.5の項参照。

【効果・薬害等の注意】……………

- トンネルやハウス栽培などの作型では、トリフルラリンが気化して薬害のおそれがあるので、特別な注意が必要。
- 雑草の発生前に、土壌に均一に散布する。処理時に発生している雑草には効果が期待できない。
- 野菜及び畑作物に使用する場合には、覆土は丁寧に行う。特に、麦類、さやいんげん、いんげんまめ、あずきは薬害を生じやすいので、覆土深は2～3cmになるように注意する。
- ぶどう、りんご、もも、なしのハウス栽培では使用しないこと。
- 直播のキャベツ、はくさい及びだいこんに使用する場合には、露地栽培（無マルチ）で使用する。
- だいこんに使用する場合には、薬害をさけるため、薬量を厳守し、砂質土壌では低薬量で使用する。
- レタスに使用する場合には、6葉展開期以前では薬害を生ずるおそれがあるので使用しない。
- 非結球あぶらな科葉菜類、なばな類及びかぶに使用する場合には、薬害をさけるため、薬量を厳守し、砂質土壌での使用はさけ、覆土は丁寧に碎土した土壌を用いて厚めに行う。雨よけ施設で使用する場合は、薬害をさけるため、両すそを上げ通気を良くし、加温はさけ、低薬量で使用する。は種前に十分灌水し、薬剤散布後1～2日間は灌

水しない。また高温時の散布はさける。密閉した施設及びトンネル栽培での使用はさける。

- すいか、メロン及びまくわうりのトンネル・マルチ栽培に使用する場合には、薬害をさけるために特に次の注意を守る。

○定植7日以上前に散布し、マルチをかけ、定植の数日前に定植箇所のマルチを切開し、気化した薬剤を飛散させてから定植する。

○定植後、株のまわりのマルチを本剤のかかっている土壌でおさえ、キャップは使用しない。

○生育期の畦間（トンネル間）に散布する時は、茎葉にかからないようにするために必ずトンネル除去前に散布する。

- しろうりに使用する場合には、薬害をさけるために、壤土～埴土では薬量を厳守し、砂壤土では低薬量で使用する。

- きゅうりに使用する場合には、薬害をさけるために次の注意を守る。

○砂壤土での使用はさける。

○地這栽培では使用しない。

○直播きゅうりの場合には、は種後の覆土を厚くし、まきつぼをおがくず、切りわらなどで覆った後に土壌全面に散布する。

- なすに使用する場合には、薬害のおそれがあるので、定植3日前までに使用する。

- さやいんげんのは種前マルチ前に使用する場合には、露地マルチ栽培で使用し、は種部分のマルチ開孔後2～3日してから種し、無処理の土で覆土する。

- かんしょに使用する場合には、薬害をさけるために、活着するまでに使用する。また、有機質含量の少ない砂質土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用しない。

- アスパラガスに使用する場合には、加工用（ホワイト）栽培では培土直後又は培土くずし後に使

用する。

●乾田直播水稲に使用する場合には、薬害をさけるため覆土は2～3cm以上にする。

●水田裏作の麦類に使用する場合には、過湿状態での使用はさける。

●大麦には薬害を生じやすいので、砂質土壌での使用はさける。

●大豆及びえだまめに使用する場合には、薬害をさけるために、マルチ栽培では使用しない。

●ごまに使用する場合には、以下のことに注意する。

○散布後に降雨が予想される場合には、使用をさける。

○本剤を使用した場合には初期生育の抑制及び本葉に薬害症状を生じるが、その後の生育には問題ない。

○重複散布は薬害を助長するためさける。

○薬量を厳守し、砂土での使用はさけ、耕起・砂土をていねいに行い、種子が露出しないようにていねいに覆土を行う。

●林木苗畑のは種床に使用する場合には、出芽直後の使用はさける。

●散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないように十分に注意して散布する。

●適用作物（全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全使用上の注意】……………

●つまみ菜、間引き菜には使用しない。

●夏期高温時の使用をさける。

●共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】.....

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当たり使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルランを含む農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量						
直播水稻	—	ノビエ	乾田直播のは種後出芽前 (ノビエ発生前) (入水15日前まで)	300 ml	100 ℓ	1 回	乾田状態で全面土壌散布	—	1 回		
小麦		一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)	は種後出芽前 (雑草発生前)	200～ 300 ml		2 回以内	全面土壌散布		—	2 回以内	
		一年生イネ科雑草	小麦出芽後～ 3 葉期 (イネ科雑草 1 葉期まで)								
		麦類 (小麦を除く)	一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)					生育期 (雑草発生前) 但し, 収穫 45 日前まで	全面土壌散布		
				は種後出芽前 (雑草発生前)							
ぶどうもなし		春～秋期 雑草発生前 但し, 収穫 30 日前まで	300～ 400 ml	1 回		全面土壌散布	—	1 回			
りんご		春期雑草発生前 但し, 収穫 150 日前まで	200～ 300 ml						全面土壌散布		
あすっこ (移植栽培)		一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)								定植前 (植穴掘前)	畦間土壌散布
なす (露地栽培)											
ブロッコリー						は種直後					
キャベツ (移植栽培)			全面土壌散布								
はくさい (移植栽培)		畦間土壌散布									
キャベツ (直播栽培)						全面土壌散布					
はくさい (直播栽培)				畦間土壌散布							
なたね			全面土壌散布								
レタス (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)									
非結球レタス (露地栽培)	定植直後										
ねぎわ				定植後 雑草発生前 但し, 収穫 30 日前まで	全面土壌散布	2 回以内	2 回以内				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
らっきょう (露地栽培)	－	一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を 除く)	植付後、春期 雑草発生前 但し、収穫 120 日前まで	200 ～ 300 ml	100 ℓ	2 回以内	全面土 壌散布	－	2 回以内
ト マ ト (露地栽培)			定植前 (植穴掘前)			1 回	畦間土 壌散布		1 回
ミニトマト (露地栽培)			定植直後						
ピーマン (露地栽培)									
とうがらし類 (露地栽培)			定植前 (植穴掘前) (マルチ前)			2 回以内	全面土 壌散布		2 回以内 (定植前は 1 回以内, 生育期は 1 回以内)
まくわうり (露地栽培 (トンネル・ マルチ栽培))			収穫 45 日前ま での生育期 (ト ンネル除去前)				畦間土 壌散布		
す い か (トンネル・ マルチ栽培)			定植前 (植穴掘前) (マルチ前)			2 回以内	全面土 壌散布		2 回以内
			収穫 45 日前ま での生育期 (ト ンネル除去前)				畦間土 壌散布		
す い か (露地栽培)			定植キャップ後 但し、収穫 45 日前まで			1 回	全面土 壌散布		1 回
漬物用すいか (トンネル・ マルチ栽培)			定植前 (植穴掘前) (マルチ前)						
メ ロ ン (露地栽培 (トンネル・ マルチ栽培))			収穫 45 日 前 までの生育期 (トンネル除去前)	200 ～ 300 ml		2 回以内	畦間土 壌散布		2 回以内
漬物用メロン (露地栽培 (トンネル・ マルチ栽培))			定植前 (植穴掘前) (マルチ前)	150 ～ 200 ml					
ズッキーニ			定植直後	300 ml		1 回	畦間土 壌散布		1 回
しろうり (露地栽培)			定植前 (植穴掘前)	150 ～ 200 ml					
きゅうり (露地栽培 (直播栽培))			は種直後	200 ～ 250 ml			全面土 壌散布		
きゅうり (露地栽培 (移植栽培))			定植前 (植穴掘前)						
			定植直後						

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
実えんどう (露地栽培)	—	一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)	は種直後	300 ml	100 ℓ	1 回	全面土 壤散布	—	1 回
さやえんどう (露地栽培)				200～ 300 ml					
さやいんげん (露地栽培)									
らっかせい さやいんげん (露地・マルチ栽培)			は種前 (マルチ前)	150～ 200 ml					
だいこん (露地栽培)						は種直後			
はつかだいこん (露地栽培)									
ごぼう (露地栽培)			植付直後						
葉ごぼう (露地栽培)									
にんじん			定植後 但し、収穫 75 日前まで	200～ 300 ml		2 回以内	1 回		
しょうが 葉しょうが									
たまねぎ (本畑)			萌芽前, 収穫打切後 (雑草発生前)			1 回	全面土 壤散布 又は畦 間土壌 散布		
アスパラガス			挿苗前 雑草発生前						
かんしょ			挿苗後 雑草発生前 但し、収穫 60 日前まで			2 回以内	全面土 壤散布 又は畦 間土壌 散布		
			植付後 但し、植付 7 日後まで					300～ 400 ml	
さといも			植付直後			1 回	全面土 壤散布		
やまのいも(むかご)			生育初期 但 し、植付 30 日 後まで					畦間土 壌散布	
やまのいも			は種前	全面土 壤混和					
だいず えだまめ			は種後出芽前			全面土 壤散布			
			定植前 (植穴掘前)	畦間土 壌散布					
			生育期 但し、収穫 45 日前まで						

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
なばな (移植栽培)	－	一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)	定植直後	200 ml	100 ℓ	1 回	畦間土壌散布	－	1 回
なばな類 (直播栽培)			は種直後	150 ～ 200 ml			全面土壌散布		
非結球あぶらな科葉菜類				150 ml					
かぶ				300 ml					
食用べにばな (花)			は種後出芽前	200 ml		全面土壌散布			
みつば				200 ml					
べにばないんげん				200 ml					
ごま			は種後出芽前	200 ml		全面土壌散布			
ひまわり (種子)				200 ml					
				200 ml					
はなっこりー (移植栽培)		定植前 (植穴掘前)	200 ～ 300 ml	2 回以内	畦間土壌散布	2 回以内 (定植前は 1 回以内, 定植後は 1 回以内)			
		定植後 但し、収穫 21 日前まで							
		植付直後, 中耕培土直後 (萌芽前)							
こんにゃく		萌芽前 雑草発生前	300 ml	5 回以内 (1 年間に 1 回以内)	全面土壌散布	5 回以内 (1 年間に 1 回以内)			
しゃくやく (薬用)		植付後、春期 中耕除草後 但し、収穫 90 日前まで		2 回以内		2 回以内			
にんにく		植付前		2 回以内		2 回以内			
あずき		は種後出芽前	200 ～ 300 ml	1 回	全面土壌散布	北海道を除く 全域	1 回		
いんげんまめ	一年生イネ科 雑草	は種後 6 日～ 出芽 2 日前まで	北海道						
ふぎ		定植直後							
しそ	一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)	定植後 雑草発生前 但し、収穫 30 日前まで	300 ml	1 回	畦間土壌散布	－			
かのこそう		定植後萌芽前 (雑草発生前) 但し、収穫 120 日前まで			全面土壌散布				
おうごん		定植後 雑草発生前 但し、収穫 90 日前まで					200 ～ 300 ml		
まおう		は種後出芽前					300 ml		

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
茶	—	一年生雑草 (ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)	1 番茶萌芽前, 摘採後 (雑草発生前) 但し, 摘採 40 日前まで	300 ～ 400 ml	100 ℓ	2 回以内		—	2 回以内
べにばな			は種直後	300 ml		1 回	全面土 壌散布		1 回
ひまわり			は種後出芽前						
ゆり			植付後～ 萌芽前						
チューリップ			萌芽前	200 ～ 300 ml			畦間土 壌散布		
しゃくやく			定植後			2 回以内	畦間・ 株間土 壌散布		2 回以内
すいせん			植付後, 生育期 (雑草発生前)						
きく			は種後～ 生育中	300 ml			全面土 壌散布		
(露地栽培)			床替後～ 生育中						
樹木類			雑草発生前	300 ～ 400 ml		3 回以内	植栽地 を除く 樹木等 の周辺 地に全 面土壌 散布		3 回以内
林木苗 (すぎ・ひのき・ あかまつ・から まつ (播種床))	公園, 庭園, 堤とう, 駐車場, 道路, 運動場, 宅地, のり面等		大土寄直後	200 ～ 250 ml		1 回	畦間土 壌散布	—	1 回
林木苗 (すぎ・ひのき・ あかまつ・から まつ (床替床))			桑発芽前, 春 切後, 夏切後 (雑草発生前)	300 ～ 400 ml		2 回以内	全面土 壌散布		2 回以内
樹木等			は種後, 伏込後 (挿木)	200 ～ 300 ml					
たばこ									
桑 (本畑)	—								
桑 (苗床)									